

令和7年度 自己評価

令和8年3月  
土崎カトリックこども園

1. 今年度の園運営について

令和7年度は、通常の教育・保育のほか、令和6年度から始めた新しい取り組み（開園時間を7時、閉園時間を19時に変更、保育ICTシステム「キッズビュー」を通した保護者とのやり取り）のさらなる充実を目指しました。また、一時預かりを利用する園児が増える中、お迎えが集中する16時から17時30分の時間帯に限り、コロナ前に行っていた子どもが利用する教室まで保護者が迎えに行く形式に戻しました。

ほか、令和8年度に向け、子ども誰でも通園制度の実施を検討する中で、既存の一時預かり保育事業（一般型）との比較検討、及び2歳児と満3歳児クラスの今後の可能性について、職員間で話し合いが重ねられました。

以上の取り組みをはじめとする令和7年度の園運営に対して、職員・保護者・学校評議員による評価を行い、それらの結果を踏まえながら、園として教育・保育方針が達成できたかの自己評価を行いました。

2. 個別の評価項目について

評価項目	評価ポイント	評価	職員		保護者		評議員
			件数	%	件数	%	A～C評価
教育目標・保育	園の教育目標のもと、集団生活の中で一人一人の発達の過程や様々な姿を捉え、その状況を踏まえた援助や指導が行われていたか。 また、発達の見通しや活動の予想に基づいて環境を構成していたか。	そうだと思う	13	44	138	84	A
		だいたいそう思う	15	50	25	15	
		あまり思わない	1	3	1	1	
		分からない	1	3	0	0	
		合計	30	100	164	100	
保健・安全指導	子どもの発達の特徴を理解し、伸び伸びと行動できるように職員が危険を取り除いたり、自らの力で安全に行動する能力を身につけたりできるように健康及び安全に過ごすための取り組みが行われていたか。	そうだと思う	14	47	148	90	A
		だいたいそう思う	15	50	16	10	
		あまり思わない	0	0	0	0	
		分からない	1	3	0	0	
		合計	30	100	164	100	
園内研修・外部研修	子どもの発達の姿を捉えるための園内研修を定期的実施したり、日々の子どもの姿について話し合う機会や外部研修で得た情報を職員間で共通理解するなどの教育・保育の質の向上に努めていたか。	そうだと思う	15	52			A
		だいたいそう思う	9	31			
		あまり思わない	2	7			
		分からない	3	10			
		合計	29	100			
家庭・保護者との連携	保護者との情報交換の機会を設けたり、連絡帳（保育部）を活用したりしながら日々の子どもの姿や成長を伝え合い、家庭との連携を密にし、信頼関係を築くことができていたか。	そうだと思う	13	43	128	78	A
		だいたいそう思う	15	50	33	20	
		あまり思わない	0	0	3	2	
		分からない	2	7	0	0	
		合計	30	100	164	100	

評価項目	評価ポイント	評価	職員		保護者		評議員
			件数	%	件数	%	A～C評価
職員間の連携	定期的なカンファレンスを行ったり、情報交換や意見交換などを行ったり、保育者同士コミュニケーションを取り合いながら連携した保育・教育ができていると感じているか。	そうだと思う	14	47			A
		だいたいそう思う	14	47			
		あまり思わない	1	3			
		分からない	1	3			
		合計	30	100			
行事について	園の行事や活動、保育参観など、日々の園生活に配慮し子どもが期待や意欲がもてるような行事内容であったか。また、子どもや保護者同士が交流する場になっていたか。	そうだと思う	14	47	125	77	A
		だいたいそう思う	14	47	35	21	
		あまり思わない	1	3	3	2	
		分からない	1	3	0	0	
		合計	30	100	163	100	
地域との連携	小中学校生とのふれあい、公共施設の訪問など、学校や地域の人達との交流を積極的に行っていたか。	そうだと思う	12	40	116	72	A
		だいたいそう思う	13	43	41	25	
		あまり思わない	3	10	5	3	
		分からない	2	7	0	0	
		合計	30	100	162	100	
子育て支援	園開放日、未就園児のコアラちゃん教室、あずかり保育など、保護者のニーズにあった活動や支援ができていたか。	そうだと思う	18	60	124	76	A
		だいたいそう思う	9	30	39	24	
		あまり思わない	0	0	0	0	
		分からない	3	10	0	0	
		合計	30	100	163	100	

評議員評価 A: そうだと思う B: だいたいそうだと思う C: あまり思わない

### 3. 園としての総合評価と、評価項目に対するコメント

個別の評価項目の結果を踏まえて、令和7年度の自己評価を右の通りといたしました。

評価
A

「教育目標・保育」及び「園内研修・園外研修」について、年に一回の秋田カトリック学園の研修会が、令和7年度はカトリック新潟教区幼保連盟の教職員研修会と共に開催されました。新潟・山形からも多くのカトリック保育施設の保育者が集い、同じカトリックの保育者との交わりは大きな刺激と励みになりました。

「家庭・保護者との連携」及び「職員間の連携」について、多くの保護者のご協力もあり、保育ICTシステムを用いた保護者とのコミュニケーションはだいぶ軌道に乗ってきたように思います。またこのシステムを用いることで、一元化・共有化されたデータをそれぞれの学年の保育者が活用し、スムーズに保育ができるようになりました。

「行事について」、発表会や参観など、保護者のご協力のもと様々な園行事を開催することができました。一方、運動会に関しては雨の予想の中で開催を決断したことにより、ご迷惑をおかけすることになりました。保護者のご意見を踏まえ、令和8年度は屋外開催にこだわらず、当日の雨天に備えて屋内施設の準備を進めています。

「地域との連携」及び「子育て支援」について、近隣で学ぶ秋田中央高校の生徒が来園して子どもたちへ絵本の読み聞かせを通しての交流が行われました。また、未就園児教室や園開放のほか、園見学会の開催機会を増やしたほか、定期的にInstagramを更新することによって、園の情報を発信していくことができました。